

平成
30年度

京都迎賓館シンポジウム

福岡開催

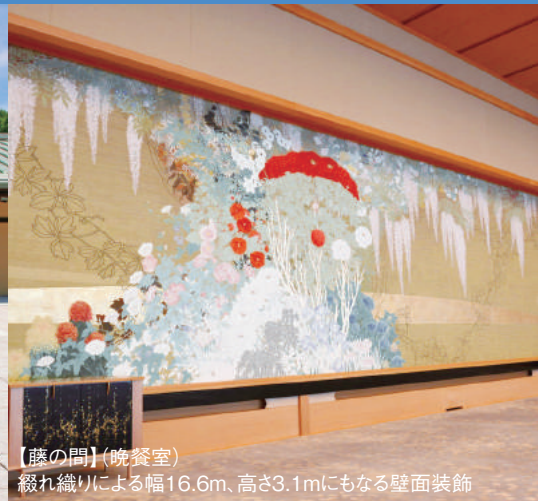


【廊橋】(庭園内)東西の建物をつなぐ橋



【正面玄関】

Kyoto State Guest House
Photo Osamu Murai



【藤の間】(晩餐室)
綴れ織りによる幅16.6m、高さ3.1mにもなる壁面装飾

京都迎賓館の美とおもてなし

現代和風を基調として、平成17年4月に開館した国の施設「京都迎賓館」

その庭屋に活かされた京都ならではの伝統技能やおもてなしの文化は、海外賓客等から高く評価されてきました。

平成28年7月からは、内閣府による**京都迎賓館一般公開**が始まり、全国の皆様に、京の匠の技とおもてなしが一層身近に

感じていただける機会が増えております。この京都迎賓館について、改めてその価値を皆様に知っていただくため、

その建設や国公賓のおもてなしに携わった方々を交え、シンポジウムを開催いたします。ぜひこの機会にお申し込み下さい。

平成30年 **9月1日**(土)

13:30~16:00(受付開始13:00)

都久志会館

福岡市中央区天神4-8-10

交通アクセス

地下鉄天神駅より 徒歩約7分

西鉄福岡駅より 徒歩約10分

バス停天神中央郵便局前より徒歩約3分

西鉄天神高速バスターミナルより徒歩約10分

500名

(事前申込抽選制)

参加無料

申込締切

平成30年 **7月30日**(月) 必着

※申込方法は裏面をご覧ください。

PROGRAM

1 芸妓さん舞妓さんによる舞踊披露

京都・宮川町(京都市東山区)

2 基調講演

「京都迎賓館～和のおもてなしとは～」

講師：安藤 昌弘氏(元 内閣府迎賓館館長)

3 パネルディスカッション

「京都にいきる技とこころ 世界へ」

京都迎賓館の運営やおもてなしについて各界の方々をお招きし、世界にひらかれた文化首都・京都ならではのしつらえ、おもてなしの真髄を語っていただきます。

コーディネーター

木下 博夫氏【国立京都国際会館館長】

パネリスト

安藤 昌弘氏 【元 内閣府迎賓館館長】

井上 八千代氏 【京舞井上流五世家元】

高橋 拓児氏 【京料理「木乃婦」三代目主人】



写真はイメージです

司会

辻本 彩乃氏【NHK福岡放送局キャスター】

当日ご参加の
皆様には

京都北山 マールブランシュの
お濃茶ラングドシャ「茶の菓」をプレゼント!



主催 公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー

協賛 株式会社ロマンライフ(京都北山 マールブランシュ)

後援 内閣府迎賓館(京都事務所)・京都府・京都市・京都商工会議所・西日本旅客鉄道株式会社
京都新聞・NHK京都放送局・NHK福岡放送局・西日本新聞社・(公財)福岡観光コンベンションビューロー

京都迎賓館一般公開について

公開日程や申込方法は、「内閣府 京都迎賓館ホームページ」をご覧ください。下記へお問い合わせ下さい。
<https://www.geihinkan.go.jp/kyoto/> 自動音声案内 TEL: 075-223-2302(24時間対応)

出演者プロフィール

コーディネーター

HIROO KINOSHITA
木下 博夫氏【国立京都国際会館館長】



昭和42年京都大学卒業後、建設省(現・国土交通省)に入省し、地域計画、道路、河川、建設産業などの分野を担当。その間、昭和59年京都市計画局長、助役(現・副市長)。平成12年国土事務次官を経て、平成17年阪神高速道路(株)社長に就任。平成24年3月現職就任。

パネリスト

YACHIYO INOUE
井上 八千代氏【京舞井上流五世家元】



観世流能楽師片山幽雪(九世片山九郎右衛門)の長女として京都に生まれる。祖母井上愛子(四世井上八千代)に師事。昭和34年井上流入門。昭和45年井上流名取となる。平成11年芸術選奨文部大臣賞、日本芸術院賞を受賞。平成12年五世井上八千代を襲名。平成25年紫綬褒章を受章、同年日本芸術院会員となる。平成27年重要無形文化財各個指定(人間国宝)に認定。

パネリスト

MASAHIRO ANDO
安藤 昌弘氏【元 内閣府迎賓館館長】



昭和19年生まれ。昭和42年東京大学法学部卒、同年総理府に入る。45年から47年英国オックスフォード大学留学。その後、迎賓館次長、賞勲局長、総理府次長を歴任。平成13年から16年特命全権大使ルクセンブルク国駐箚、16年から20年内閣府迎賓館館長、20年から30年一般社団法人新情報センター会長。現在茜出版代表取締役。

パネリスト

TAKUJI TAKAHASHI
高橋 拓児氏【京料理「木乃婦」三代目主人】



昭和43年、京都生まれ。大学卒業後、東京の「吉兆」で5年間修業、故湯木貞一氏に直接、薫陶を受ける。その後、京都に戻り、料亭「木乃婦」の三代目を継ぐ。シニアソムリエや利き酒師の資格を取得し、ワインと和食とのコラボなど常に新しい調理法や素材に取り組んでいる。「日本食普及の親善大使」も務め、海外の多くの食イベントに招聘される。NHK「きょうの料理」講師。

京都迎賓館シンポジウム【参加申込方法】

FAXまたは郵便ハガキにてお申し込み下さい。なお、お電話でのお申し込みはご遠慮願います。

申込締切

平成30年 7月30日(月) 必着

必要事項をご記入の上、お申し込み下さい。(応募多数抽選)

※当選者には、8月13日(月)までに代表者あてに参加証を送ります。(なお、落選された方にも、ハガキにより同様に通知します)

1 FAX申込用紙(本用紙1枚につき2名様まで申込可能です)

FAX

075-212-4121

※番号をお間違えないようにお願いします。

(公財) 京都文化交流コンベンションビューロー 行

【お願い】大きな字ではっきりお書き下さい。切り取らずこのまま送信して下さい。

参加者 (代表者)	ふりがな		
	氏名		
	住所(〒 -)		
		※ビル、マンション名までご記入下さい。	
	電話番号 () -	FAX番号 () -	
参加者 (2人目)	ふりがな	【お願い】このチラシの入手場所をお聞かせ下さい。 ▶施設名やイベント名(○○図書館、○○講演会など) ()	

2 郵便はがきでの申込方法

1枚のはがきで2名様まで申込可能です。

代表者の方の郵便番号・住所・氏名・ふりがな・電話番号・FAX番号(2名の場合は、もう1名の方の「氏名」・「ふりがな」)をご記入の上、下記の申込先(京都文化交流コンベンションビューロー)までお送り下さい。

お申込・お問合せ先

〒604-0862 京都市中京区烏丸通夷川上ル 京都商工会議所ビル5階
公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー 京都迎賓館シンポジウム係

TEL 075-212-4540 FAX 075-212-4121

京都ビューロー

検索

※この個人情報は、本シンポジウム事業の運営以外には使用いたしません。
※都合により、プログラム、内容を変更させていただく場合がございます。
※当日、開演後の写真、動画撮影はできませんので、ご了承下さい。